

平成 26 年病虫害の発生と防除

農林水産省消費・安全局 植物防疫課
農産安全管理課農薬対策室

I 天候経過の状況(気象庁報道発表資料より抜粋, 図-1)

1 2014 年(平成 26 年) 冬(2013 年 12 月～2 月)の特徴

(1) 東日本と沖縄・奄美では, 1 月下旬から 2 月はじめを除いては寒気に覆われることが多く, 気温は低かった。東日本では 3 年連続の寒冬となった。北・西日本では平年並だった。

(2) 上空の強い寒気の南下は一時的で, 日本海側の降雪量は北日本の山沿いなどを除いて全般に平年を下回ったところが多く, 特に北陸地方の平地では平年を大きく下回った。

(3) 2 月上旬と中旬にそれぞれ 1 度, 低気圧が発達しながら日本の南岸を通過し, 太平洋側では広い範囲で大雪となった。特に, 14 日から 16 日にかけては, 関東甲信地方を中心に過去の最深積雪の記録を大幅に上回る記録的な大雪となった。

2 2014 年(平成 26 年) 春(3～5 月)の特徴

(1) 北日本から西日本にかけては, 期間を通して高気圧に覆われる日が多く, 春の日照時間がかなり多かった。東日本日本海側, 東日本太平洋側, 西日本日本海側では, 統計を開始した 1946 年以降最も多かった。

(2) 東・西日本では, 寒気が南下し低温となる時期もあったが, 3 月下旬と 5 月下旬に南から暖かい空気が流れ込み, 気温が平年を大幅に上回ったことなどから, 春の平均気温は高かった。沖縄・奄美では, 冷涼な高気圧や寒気の影響を受けて気温の低い日が多く, 春の平均気温は低かった。

3 2014 年(平成 26 年) 夏(6～8 月)の特徴

(1) 夏の平均気温は, 西日本では, 2003 年以来 11 年ぶりに低かった。一方, 北日本, 東日本では 5 年連続で高く, 沖縄・奄美では 2 年連続で高かった。

(2) 夏の降水量は, 北日本, 西日本太平洋側ではかなり多く, 東・西日本日本海側で多かった。

(3) 気圧の谷の影響と太平洋高気圧の西日本付近への張り出しが弱かった影響で, 西日本の夏の日照時間は

かなり少なかった。

4 2014 年(平成 26 年) 秋(9～11 月)の特徴

(1) 北日本から東日本にかけて大陸からの移動性高気圧に覆われ, 晴れる日が多かった。このため, 北日本と東日本日本海側の日照時間はかなり多く, 東日本日本海側と東北地方では 1946 年の統計開始以来, 秋としては最も多い記録を更新した。

(2) 沖縄・奄美では, 先島諸島を中心に高気圧の勢力が平年より強かったため, 気温がかなり高く, 降水量が少なかった。

(3) 北日本と東日本では, 近年, 秋の高温が続いていたが, 9 月を中心に大陸からの冷たい空気を伴った高気圧に覆われる日が多く, 2009 年以来 5 年ぶりに平年並の気温となった。

(参照)

気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/press/index.html?t=1&y=26>

II 作物別の病虫害発生状況の概要(表-1)

1 水稲病虫害(表-2(1)①; 図-2, 3, 4)

病害: 縞葉枯病は, 冬期から春期の調査で, ヒメトビウンカ越冬虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒率が高かったことから, 発生が多くなることが懸念され, 2 月下旬から 5 月下旬に注意報が茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 神奈川県, 5 県から延べ 6 件発表され, 防除が呼びかけられた。

いもち病は, 西日本を中心に 8 月上旬ごろから多雨, 日照不足となり, 本病の発生に適した天候が続いたことから発生が多く, 警報が鳥取県, 山口県, 福岡県, 佐賀県および大分県の 5 県から, 注意報が 17 府県から延べ 18 件発表され, 防除が呼びかけられた。なお, 鳥取県では平成 15 年以来的 11 年ぶり, 山口県, 福岡県, 佐賀県および大分県では平成 5 年以来的 21 年ぶりの警報発表となった。

害虫: トビイロウンカは, 6 月末から飛来し, 8 月上旬ごろから各地で発生が多く, 警報が兵庫県から, 注意報が近畿, 中国, 四国および九州の 10 県から延べ 11 件発表され, 防除が呼びかけられた。

斑点米カメムシ類は 6 月下旬から 8 月下旬に北海道か

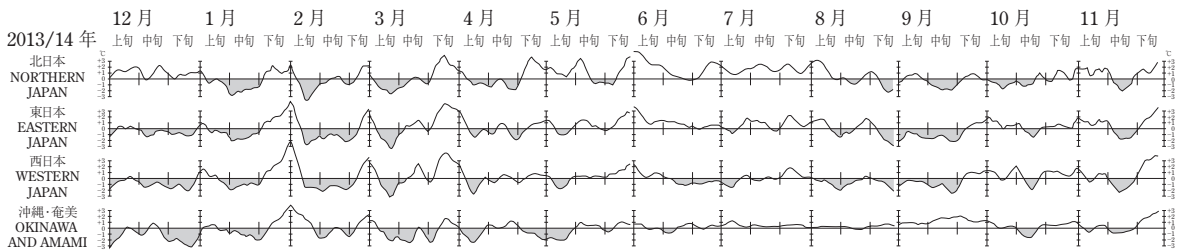


図-1 地域別平均気温年差の経過 (5日移動平均): 気象庁報道発表資料から抜粋

ら中国にかけて発生が多く、警報が秋田県から、注意報が24道府県から延べ32件発表され、防除が呼びかけられた。

なお、平成26年産水陸稲の収穫量(平成26年12月5日農林水産省大臣官房統計部公表)では、平成26年産水稲の作柄は、北海道から関東・東山では、全もみ数が増じて多かったことから作柄がおおむね平年並み以上となった一方、東海以西では、日照不足・低温や一部地域での病害虫等の影響で全もみ数および登熟が平年を下回ったことから、全国の10a当たり収量は536kg(作況指数101)が見込まれている。

農業地域別の作況指数は、北海道が107、東北105、北陸100、関東・東山102、東海99、近畿98、中国96、四国96、九州96および沖縄84となった。

2 その他普通作物病害虫(表-2(1)②)

麦: 麦類の赤かび病は、注意報が愛媛県および大分県の2県から発表され、防除が呼びかけられた。

大豆: オオタバコガは、注意報が茨城県および愛知県の2県から発表され、防除が呼びかけられた。

3 果樹病害虫(茶を含む)(表-2(1)③)

害虫: 果樹カメシ類は、各地で越冬量が多く、春期から夏期にかけて越冬成虫の果樹園への飛来が多いことが懸念された。また四国および九州を除いてスギヤヒノキの花粉の飛散量が少なく、餌となる毬果が少なかったことなどから、夏以降は第1世代以降の成虫が果樹園に多く飛来することが懸念された。このことから1月から10月上旬までに注意報が31道府県から延べ41件発表され、防除が呼びかけられた。

4 野菜および花き病害虫(表-2(1)④)

病害: トマト灰色かび病は、注意報が岐阜県および熊本県の2県から発表され、防除が呼びかけられた。

害虫: いちごのハダニ類は、注意報が2月に宮城県、茨城県、三重県、徳島県および宮崎県の5県から、10月中旬に長崎県から発表され、防除が呼びかけられた。

オオタバコガは、注意報が茨城県、群馬県、神奈川県、愛知県および徳島県の5県から発表され、防除が呼びか

けられた。

本年の特殊報は、11月30日までに都道府県から46件発表されており、そのうち普通作に関するものは1件、果樹・茶に関するものは15件、野菜・花き等に関するものは30件あった。

III 病害虫防除事業

1 ウリミバエおよびミカンコミバエ

ウリミバエおよびミカンコミバエの侵入リスクのある地域において侵入警戒調査を実施するとともに、これら害虫の侵入リスクが特に高い沖縄県においては、ウリミバエに対して不妊虫放飼、ミカンコミバエに対して誘殺板(誘引剤と殺虫剤を染み込ませたもの)を散布することにより、再侵入防止対策を実施している。

なお、沖縄県においては、毎年、ミカンコミバエが侵入警戒調査用トラップに複数回誘殺されている。平成26年は、ミカンコミバエの誘殺が例年よりも多く、また、調査の過程において寄主植物の果実から幼虫の寄生が確認された。いずれの誘殺事例においても、風による海外の発生地域からの飛び込みが原因となった誘殺と考えられるものの、防疫指針に基づき、発生調査および誘殺板の散布などの防除対策を強化して、再侵入がないことを確認している。

2 アリモドキゾウムシおよびイモゾウムシ

鹿児島県の喜界島においては、アリモドキゾウムシを対象として、沖縄県の津堅島においては、アリモドキゾウムシおよびイモゾウムシを対象として、不妊虫放飼法などによる防除を実施し、根絶防除事業を進めている。

3 カンキツグリーンング病菌

現在、鹿児島県の奄美群島(奄美大島および喜界島を除く。)および沖縄県北部地域においては、両県が感染植物を処分するなどの根絶に向けた取組を進めている。

4 ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス(PPV))

東京都青梅市とその周辺地域において、平成22年2月から緊急防除を実施し、PPVに感染するおそれのあ

表-1 病虫害発生・防除状況（平成 26 年 10 月 1 日現在速報値）

（単位：千 ha，％）

病虫害名	概評	発生面積 (注 1) /前年比	延べ防除面積 (注 2) /前年比					
(水稲)				腐らん病 ハマキムシ類 ハダニ類	甲信の一部地域でやや多い 平年並～少ない 北関東の一部地域で多い、東北および北陸の一部地域でやや多い	4 98.9 2 231.6 7 105.2	30 55.3 54 34.8 50 40.7	
葉いもち	北東北の一部地域で多い、近畿、中国、四国および九州の一部地域で多い～やや多い、北関東の一部地域でやや多い	350 135.3	1,422 104.2	(なし)				
穂いもち	北関東の一部地域で多い、東北、中国、四国および九州の一部地域で多い～やや多い、甲信、近畿の一部地域でやや多い	393 161.9	1,328 101.3	黒星病 黒星病	北陸および四国の一部地域でやや多い 東海の一部地域で多い、東北、中国および九州の一部地域で多い～やや多い、関東、北陸および近畿の一部地域でやや多い	1 94.1 5 104.1	41 103.6 110 99.6	
紋枯病	東北および甲信の一部地域で多い、北陸、東海、近畿、中国および四国の一部地域で多い～やや多い、北関東および九州の一部地域でやや多い	649 137.2	729 103.0	ナシヒメシロイ	南関東の一部地域で多い、甲信、中国、四国および南九州の一部地域でやや多い	1 96.6	56 94.0	
白葉枯病	南東北の一部地域で多い、北関東の一部地域でやや多い	5 87.0	50 85.4	ハダニ類	関東、北陸および中国の一部地域で多い～やや多い、南東北、東海、四国および九州の一部地域でやや多い	6 102.5	35 97.6	
ばか苗病	北九州の一部地域で多い、南東北、東海、近畿、中国および四国の一部地域でやや多い	18 94.1	701 80.3	カメムシ類	近畿の一部地域で多い、関東および東海の一部地域で多い～やや多い、甲信、中国、四国および九州の一部地域でやや多い	3 295.1	31 148.0	
もみ枯細菌病	四国および北陸の一部地域で多い、東北の一部地域で多い～やや多い、南関東、東海、近畿および南九州の一部地域でやや多い	29 37.3	128 83.9	アブラムシ類	関東の一部地域で多い～やや多い、南東北、四国および北九州の一部地域でやや多い	7 116.3	36 97.4	
蒴粟枯病	東海および中国の一部地域で多い、関東の一部地域で多い～やや多い、近畿および南九州の一部地域でやや多い	88 86.2	204 116.1	(もも)				
稲こうじ病	東海、中国および四国の一部地域で多い、東北および九州の一部地域で多い～やや多い	125 101.2	56 98.3	せん孔細菌病	南東北、甲信、東海、北陸および近畿の一部地域でやや多い	4 108.0	46 107.2	
ニカメイガ	南関東および北陸の一部地域で多い、東海の一部地域でやや多い	101 68.2	578 92.9	灰星病	平年並～少ない	0.8 83.1	34 88.8	
セジロウンカ	北東北の一部地域で多い、近畿および沖縄の一部地域でやや多い	535 81.3	1,183 96.3	(ぶどう)				
トビイロウンカ	東海、近畿および中国の一部地域で多い～やや多い、四国および九州の一部地域でやや多い	205 88.7	1,097 109.2	晩腐病	北関東の一部地域で多い、北陸、近畿および中国の一部地域でやや多い	2 119.7	39 95.5	
ヒメトビウンカ	四国の一部地域で多い、東北および東海の一部地域で多い～やや多い、関東、北陸、中国、九州および沖縄の一部地域でやや多い	825 101.6	1,564 123.5	べと病	北関東、近畿および北九州の一部地域でやや多い	4 101.0	52 94.2	
ツマグロヨコバイ	南関東、東海、中国および南九州の一部地域でやや多い	465 92.5	1,191 141.1	灰色かび病	北関東の一部地域でやや多い	0.5 86.2	30 90.9	
イネドロオシムシ	南東北の一部地域で多い、近畿および南九州の一部地域でやや多い	126 76.9	577 91.8	(かき)				
斑点米カメムシ類	南関東および四国の一部地域で多い、東北、北陸、東海および中国の一部地域で多い～やや多い、近畿、南九州および沖縄の一部地域でやや多い	542 100.2	1,571 111.6	うどんこ病	東海および北九州の一部地域で多い、近畿および四国の一部地域でやや多い	6 98.5	48 93.1	
アワヨトウ	東北および北陸の一部地域で多い、東海の一部地域でやや多い	57 212.4	34 55.4	落葉病類	北関東、北陸および中国の一部地域でやや多い	4 94.7	48 99.9	
コブノメイガ	平年並～少ない	70 24.3	479 96.6	カメムシ類	東海および近畿の一部地域で多い、関東、四国および九州の一部地域で多い～やや多い、中国の一部地域でやや多い	9 246.2	61 165.0	
イネミズノウムシ	東北の一部地域で多い、東海、近畿および北九州の一部地域でやや多い	549 115.3	704 99.0	カキクダザミウム	平年並～少ない	0.9 82.5	19 70.1	
(麦類)				(茶)				
さび病類	甲信および東海の一部地域でやや多い	21 50.9	29 13.0	炭そ病	近畿および九州の一部地域で多い～やや多い	23 95.3	82 99.1	
うどんこ病	東海の一部地域で多い、北関東および甲信でやや多い	17 112.6	281 118.7	チャノコカモンハ	南関東および近畿の一部地域でやや多い	12 83.3	78 104.8	
赤かび病	南東北の一部地域でやや多い	20 81.1	166 31.4	カンギ				
雪腐病類	北東北の一部地域でやや多い	2 3.9	0.1 0.1	カンザワハダニ	南関東の一部地域で多い、近畿の一部地域でやや多い	18 88.1	77 98.7	
(ばれいしょ)				(きゅうり)				
疫病	北東北の一部地域でやや多い	12 118.5	402 98.3	べと病	東北および南九州の一部地域で多い、関東の一部地域で多い～やや多い、甲信、近畿、中国および四国の一部地域でやや多い	3 107.2	24 90.3	
(大豆)				うどんこ病	関東および北陸の一部地域で多い～やや多い、南東北、近畿、中国および北九州の一部地域でやや多い	3 92.5	23 94.3	
紫斑病	北九州の一部地域でやや多い	0.6 40.8	42 102.2	(すいか)				
べと病	東海および中国の一部地域で多い、近畿および九州の一部地域で多い～やや多い、関東の一部地域でやや多い	33 91.7	24 115.2	つる枯病	北陸の一部地域でやや多い	0.7 41.6	21 86.8	
葉焼病	近畿の一部地域で多い～やや多い、南東北および九州の一部地域でやや多い	14 81.2	- -	(はくさい)				
アブラムシ類	関東の一部地域で多い、九州の一部地域で多い～やや多い、近畿および中国の一部地域でやや多い	21 131.7	38 174.1	軟腐病	北関東の一部地域でやや多い	0.8 96.7	17 97.6	
ハスモンヨトウ	北関東の一部地域でやや多い	22 78.4	48 68.4	白斑病	北関東の一部地域でやや多い	1 767.3	11 99.0	
ハダニ類	北関東の一部地域で多い、北陸の一部地域で多い～やや多い、近畿の一部地域でやや多い	14 124.2	0.2 79.5	(キャベツ)				
カメムシ類	北東北の一部地域で多い、東海および四国の一部地域でやや多い	18 84.6	71 97.2	黒腐病	北九州の一部地域で多い、関東の一部地域で多い～やや多い、東海の一部地域でやや多い	1 205.7	24 138.5	
(かんきつ類)				コナガ	関東、北陸、四国および南九州の一部地域でやや多い	4 124.9	29 92.5	
そうか病	南関東および東海の一部地域で多い、四国の一部地域で多い～やや多い、南九州の一部地域でやや多い	11 150.4	84 97.8	(たまねぎ)				
黒点病	沖縄の一部地域で多い、九州の一部地域で多い～やや多い、南関東および近畿の一部地域でやや多い	41 93.7	218 99.1	べと病	中国および北九州の一部地域で多い～やや多い、北関東の一部地域でやや多い	4 116.7	15 97.5	
かいう病	東海の一部地域でやや多い	15 105.8	84 92.7	(野菜共通)				
ヤノネカイガラシ	東海および四国の一部地域でやや多い	3 62.0	55 69.8	疫病	平年並～少ない	0.4 38.9	14 86.5	
ミカンハダニ	中国の一部地域で多い～やや多い、東海、近畿、四国、南九州および沖縄の一部地域でやや多い	36 96.9	165 102.3	灰色かび病	いちご：南関東の一部地域で多い、近畿および南九州の一部地域でやや多い、トマト：四国および南九州の一部地域で多い、南東北、甲信、東海および近畿の一部地域でやや多い	3 80.4	46 98.3	
カメムシ類	南関東および東海の一部地域で多い、九州の一部地域で多い～やや多い、近畿、中国および四国の一部地域でやや多い	10 119.4	33 101.5	ハダニ類	いちご：南東北および南九州の一部地域で多い、関東および中国の一部地域で多い～やや多い、東海、近畿および四国の一部地域でやや多い、さといも：南関東の一部地域で多い、すいか：南東北および北陸の一部地域でやや多い、なす：関東の一部地域で多い～やや多い、北陸の一部地域でやや多い	7 96.6	44 95.8	
(りんご)				ハスモンヨトウ	いちご：南東北の一部地域でやや多い、キャベツ：北関東の一部地域で多い、北九州の一部地域でやや多い、はくさい：北関東の一部地域でやや多い、レタス：北関東の一部地域で多い、北九州の一部地域でやや多い	4 152.4	62 282.4	
モリニア病	平年並～少ない	0.1 16.3	6 12.3	ヨトウガ	平年並～少ない	1 96.0	22 79.9	
斑点落葉病	東北の一部地域で多い～やや多い、東海の一部地域でやや多い	6 91.4	107 37.9	(きく)				
黒星病	南東北の一部地域で多い	0.6 26.2	78 36.7	白さび病	南東北の一部地域で多い、甲信、近畿および北九州の一部地域でやや多い	0.2 87.5	5 92.4	
				アザミウマ類	東海および北九州の一部地域で多い、北関東、中国および四国の一部地域でやや多い	0.4 65.0	5 53.2	
				アブラムシ類	南九州の一部地域で多い、四国の一部地域でやや多い	0.4 61.9	4 48.4	

注 1：標本抽出された調査定点ごとに定められた調査方法に従い病虫害発生度（無、少、中、多、甚の 5 段階）を算出し、調査地区内の栽培面積を各発生程度の割合に乗じて発生程度別面積を算出。無発生を除く。発生程度別面積「少」～「甚」を合算した数値。

注 2：当該病虫害を対象として複数回防除を実施した場合や 2 種類以上の病虫害を対象とする混合剤による防除を実施した場合は、その回数や剤数を乗じて散布面積を算出した数値。

表-2 平成 26 年発生予察情報（警報・注意報・特殊報）の発表状況

(1) 警報・注意報（注：数字は発表月日，斜体アンダーラインは警報）

(1 月 1 日～11 月 30 日)

①水稲		葉いもち	穂いもち	いもち病	斑点米カメムシ類	その他の病害虫
北 海 道					7/18, 8/1	
東 北	青 森		7/25		7/23	5/21 イネヒメハモグリバエ，7/28 イネ紋枯病
	岩 手		7/28		7/14, 7/31 7/4, 8/6 7/10, <u>8/Z</u> , 8/22 7/2, 7/24 6/30	
関 東	宮 城					
	秋 田					
山 梨	山 梨					
	福 島					
茨 城	茨 城				7/29	3/14 イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ） 5/29 イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ） 3/25 イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ） 4/1 イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ），5/23 イネ縞葉枯病
	栃 木				6/30 7/9	2/27 イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ）
群 馬	群 馬					
	埼 玉					
千 葉	千 葉					
	東 京					
神 奈 川	神 奈 川			7/25	7/30 7/3	
	山 梨					
山 梨	山 梨					
	長 野					
静 岡	静 岡					
北 陸	新 潟				7/16 6/26, 7/17 7/9 7/1	
	富 山					
石 川	石 川					
	福 井					
東 海	岐 阜				7/17 7/16, 8/18 7/7	
	愛 知					
三 重	三 重					
近 畿	滋 賀	8/20			7/24	8/29 トビイロウンカ， <u>9/12 トビイロウンカ</u>
	京 都	9/1		7/31	7/4, 8/26	
大 阪	大 阪					
	兵 庫					
和 歌 山	和 歌 山					
中 国 四 国	鳥 取	7/15, <u>8/20</u>			7/31 7/24	8/22 トビイロウンカ，9/5 イネ紋枯病
	島 根			7/30 7/25		8/8 トビイロウンカ
山 口	山 口	8/8, <u>8/15</u>			7/11	
	徳 島	8/15				9/11 トビイロウンカ
香 川	香 川	8/22				
	媛 知					
高 知	高 知					
九 州	福 岡	<u>8/22</u>	8/8			9/9 トビイロウンカ
	佐 賀	<u>8/20</u>	8/6			9/22 トビイロウンカ
熊 本	熊 本	8/18				9/16 トビイロウンカ
	大 分	8/11, 9/4				8/11 トビイロウンカ
宮 崎	宮 崎	8/7, <u>8/25</u>				9/19 トビイロウンカ
	鹿 児 島					8/15 トビイロウンカ，9/17 トビイロウンカ（第 3 世代）
沖 縄						

(1月1日～11月30日)

②畑作 (水稲を除く)		ハスモンヨトウ	その他の病害虫
北海道			5/14 コムギ赤さび病 (小麦), 7/3 アワヨトウ (イネ科作物)
東北	青森		
	岩手		
関東	宮城		
	秋田		
北陸	山形		
	福島		
東海	茨城		9/1 オオタバコガ (大豆)
	栃木		
近畿	群馬		
	埼玉		
中国四国	千葉		
	神奈川		
九州	山梨		
	長野		
沖縄	静岡		
	愛知		
中国四国	滋賀		
	京都		
九州	大阪		
	兵庫		
中国四国	奈良		
	和歌山		
九州	鳥取		
	島根		
中国四国	岡山		
	広島		
九州	山口		
	徳島		
中国四国	香川		
	愛媛		
九州	高知		
	福岡		
中国四国	佐賀		
	長崎		
九州	熊本		
	大分		
中国四国	宮崎		
	鹿児島		
沖縄			

(1月1日～11月30日)

③果樹 (茶を含む)		果樹カメムシ類	その他の病害虫
北 海 道			
東 北	青森		6/30 ハダニ類 (ナミハダニ) (りんご)
	岩手		7/18 ナシ黒星病 (なし)
東 北	宮城		
	秋田		
東 北	山形		
	福島	7/31 (なし)	5/9 モモせん孔細菌病 (もも), 6/9 モモせん孔細菌病 (もも), 8/29 モモせん孔細菌病 (もも)
関 東	茨城	5/28 (なし, かき, りんご, ぶどう等)	
	栃木	6/6 (なし, りんご, もも, うめ, ぶどう等)	
	群馬	6/12 (なし, りんご)	
	埼玉	6/10 (なし)	3/26 チャトゲコナジラミ (つばき, さざんか, さかき)
	千葉	5/30 (びわ, なし, かんきつ等)	
	東京	6/2 (なし, ぶどう等)	
	神奈川	5/30 (なし, かき, キウイフルーツ, うめ等), 8/22 (なし, かき, キウイフルーツ, 温州みかん等)	
	山梨		5/13 マイマイガ (果樹作物)
	長野	4/9 (うめ, もも, キウイフルーツ, なし, かき, びわ, かんきつ等), 10/3 (かんきつ, かき, キウイフルーツ等)	
	静岡		
北 陸	新潟		
	富山		
東 海	石川		
	福井		
東 海	岐阜	5/22 (なし, もも, かき, りんご, みかん等), 7/23 (なし, かき, もも, りんご, みかん等)	5/16 マイマイガ (果樹作物)
	愛知	4/4 (うめ, もも, なし, ぶどう, かき)	
	三重	5/21 (なし, かき等), 9/17 (かんきつ, かき等)	
近 畿	滋賀	6/5 (もも, うめ, なし, かき), 7/8 (かき, なし, ぶどう等)	
	京都	6/6 (もも, なし, かき, かんきつ等), 7/25 (もも, なし, かき, かんきつ等)	
	大阪	5/30 (もも, うめ, かき, ぶどう等)	
	兵庫		
	奈良	5/14 (うめ, もも, なし, かき, ぶどう, かんきつ), 8/25 (かき, なし, ぶどう, みかん)	
近 畿	和歌山	4/14 (うめ, もも, すもも, かき, かんきつ), 8/19 (かき, ぶどう, キウイフルーツ), 9/9 (かんきつ)	
中 国 四 国	鳥取	7/9 (果樹全般)	
	島根	7/24 (かき, なし, すもも)	
	岡山	4/24 (もも, なし等)	
	広島	6/13 (なし, ぶどう, もも, かき, りんご, かんきつ等)	
	山口	6/10 (なし, もも, りんご等果樹全般)	
	徳島	5/19 (なし, もも, うめ, かき, かんきつ類)	
	香川	6/3 (もも, なし, かき, キウイフルーツ, ぶどう, かんきつ等)	8/20 カキ炭疽病 (かき)
	愛媛	3/17 (うめ, もも, びわ, キウイフルーツ, なし, すもも, かんきつ, かき等), 9/4 (かんきつ, かき等)	
	高知	5/26 (うめ, もも, すもも, なし, かき, かんきつ類)	
九 州	福岡	1/28 (うめ, もも, すもも, なし, かき, かんきつ等)	
	佐賀	9/18 (果樹全般)	
	長崎	9/1 (かんきつ, なし, かき, キウイフルーツ等)	
	熊本		
	大分	8/7 (果樹全般)	
九 州	宮崎		
	鹿児島	9/10 (かんきつ, なし, かき)	
沖 縄			

(1月1日～11月30日)

④野菜・花き		ハスモンヨトウ	その他の病害虫
北海道			6/27 ヨトウガ (作物全般), 7/4 ネギアザミウマ (たまねぎ), 8/4 ヨトウガ (作物全般)
東北	青森		6/6 ネギアザミウマ (ねぎ), 8/28 キュウリ炭疽病・キュウリべと病 (きゅうり), 10/3 コナガ (アブラナ科作物 (キャベツなど)) 2/19 ナミハダニ (いちご)
	宮城 秋田 山形 福島		
関東	茨城		2/25 ハダニ類 (ナミハダニなど) (いちご), 9/1 オオタバコガ (野菜類, 花き類) 4/23 アブラムシ類 (作物全般), 8/15 オオタバコガ (野菜類, 花き類) 5/30 オオタバコガ (なす, トマト, ピーマン等) 5/13 マイマイガ (野菜類)
	栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡		
北陸	新潟 富山 石川 福井		5/14 ネキリムシ類 (カブラヤガ, タマナヤガ) (フェロモントラップ)
東海	岐阜 愛知 三重		8/26 トマト灰色かび病 (トマト) 2/4 ミナミキイロアザミウマ (きゅうり), 7/16 オオタバコガ (きく), 12/1 ハダニ類 (いちご) 2/17 ハダニ類 (ナミハダニなど) (いちご)
近畿	滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山		8/29 トマト黄化葉巻病 (トマト)
中国 四国	鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知		6/13 ネギべと病 (ねぎ) 11/4 イチゴうどんこ病 (いちご) 2/3 ハダニ類 (いちご), 8/8 オオタバコガ (野菜類, 花き類) 6/30 イチゴうどんこ病 (いちご), 8/29 キュウリ炭疽病 (きゅうり)
九州	福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島		4/4 タマネギべと病 (たまねぎ), 7/31 イチゴうどんこ病 (いちご), 9/4 イチゴうどんこ病 (いちご), 10/29 イチゴうどんこ病 (いちご) 3/18 タマネギべと病 (たまねぎ), 7/15 イチゴ炭疽病 (いちご), 8/19 イチゴ炭疽病 (いちご), 10/15 ハダニ類 (ナミハダニ, カンザワハダニ) (いちご) 9/4 トマト灰色かび病 (トマト), 9/26 トマト黄化葉巻病 (トマト) 2/3 ハダニ類 (いちご)
沖縄			

(2) 特殊報

(1月1日～11月30日)

		①普通作	②果樹類 (茶を含む)	③野菜類 (花き類含む)
北 海 道				
東 北	青 森			11/26 プラタナスゲンバイ (プラタナス)
	宮 城			3/20 アスバラガス疫病 (アスバラガス)
東 北	秋 田			
	山 形			
東 北	福 島			
関 東	茨 城		6/18 キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統) (キウイフルーツ)	9/30 チバクロバネキノコバエ (いちご)
	群 馬			7/24 トマト葉かび病 (レース 2.9, 4.9, 2.5.9, 4.5.9) (トマト), 7/24
関 東	埼 玉			ピーマンえそ輪点病, トマト茎えそ病 (仮称) (ピーマン, ミニトマ
	千 葉			ト), 8/28 ネギ葉枯病 (ねぎ)
関 東	東 京			7/30 トビイロシワアリ (なす)
	神奈川			3/10 アシビロヘリカメムシ (きゅうり), 10/14 トマト茎えそ病 (仮称)
関 東	山 梨			(トマト)
	長 野		6/6 キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統) (キウイフルーツ)	1/27 タバコノミハムシ (なす), 10/8 インパチエンスべと病 (イン
北 陸	静 岡			パチエンス)
				1/21 メロン退緑黄化病 (メロン)
北 陸	新 潟			1/21 クロメンガタスズメ (なす・トマト), 1/21 ネギえそ条斑病 (ね
	富 山			ぎ)
東 海	石 川			
	福 井			
東 海	岐 阜			9/24 トマトモザイク病 (Tm-1, Tm-2 および Tm-2* 打破系統) (ト
	愛 知		7/11 ウメ輪紋病 (うめ)	マト)
近 畿	三 重			
近 畿	滋 賀			2/6 キク茎えそ病 (きく)
	京 都			7/2 ネギえそ条斑病 (ねぎ)
近 畿	大 阪			
	兵 庫			
近 畿	奈 良		5/19 チャトゲコナジラミ (茶, ひさかき), 5/29 キウイフルーツか	8/6 キュウリ退緑黄化病 (きゅうり)
	和歌山		いよう病 (Psa3 系統) (キウイフルーツ)	
中 四 国	鳥 取			10/9 トルコギキョウえそ輪紋病 (トルコギキョウ)
	島 根		5/9 ネギアザミウマ (ぶどう), 5/27 キウイフルーツかいよう病 (Psa3	1/6 ミナミアオカメムシ (なす), 10/20 トマト黄化えそ病 (トマト)
中 四 国	岡 山		系統) (キウイフルーツ)	
	広 島			6/12 コナカイガラムシ類の一種 (ばら), 6/19 ハコベハナバエ (ほ
中 四 国	山 口			うれんそう)
	徳 島			
中 四 国	香 川			
	愛 媛		5/2 キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統) (キウイフルーツ), 8/1	8/26 シソモザイク病 (仮称) (しそ), 8/26 シソサビダニ (しそ)
九 州	高 知		イチジクモザイク病 (いちじく)	
九 州	福 岡		5/9 キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統) (キウイフルーツ)	10/7 クロテンコナカイガラムシ (ミニトマト, なす)
	佐 賀		2/12 キウイフルーツかいよう病 (キウイフルーツ), 4/9 チャトゲコ	8/4 ナスコナカイガラムシ (きゅうり)
九 州	長 崎	1/8 ミツユビナ	ナジラミ (茶), 5/22 キウイフルーツかいよう病 (Psa3 系統) (キウ	
		ミハダニ (ばれ	イフルーツ), 9/30 ヒメボクトウ (なし)	
九 州	熊 本	いしょ)	9/2 キウイフルーツかいよう病 (Psa1 系統) (キウイフルーツ)	
	分 岐			4/28 ビーマン炭疽病 (ピーマン)
九 州	宮 崎			3/31 モトジロアザミウマ (ピーマン)
	鹿 児 島			
沖 縄				1/20 トルコギキョウ葉巻病 (トルコギキョウ)

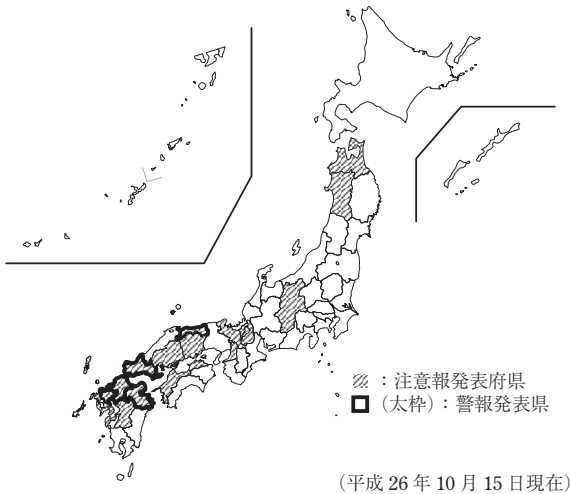


図-2 イネいもち病の警報・注意報発表状況

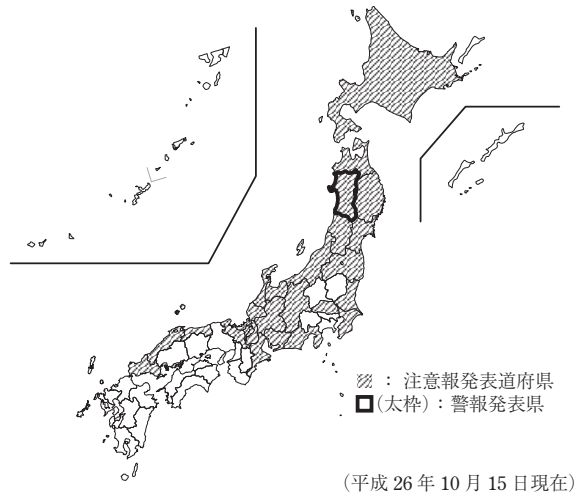


図-4 斑点米カメシ類の警報・注意報発表状況

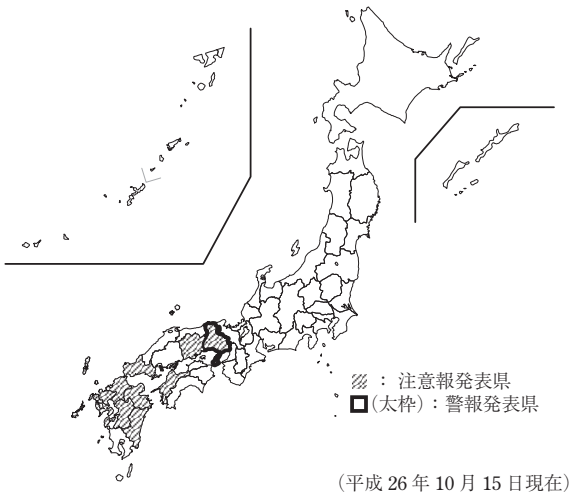


図-3 トビイロウンカの警報・注意報発表状況

る植物の移動制限、PPV を媒介するアブラムシに対する薬剤散布および調査で特定した PPV の感染植物の廃棄等の防除により、国内における PPV の根絶を図ってきた。このような状況の中、本年度の調査の結果、東京都八王子市の一部地域で根絶が確認された一方、新たな感染植物が確認されたことから、引き続き緊急防除により PPV の根絶を図ることとし、平成 27 年 1 月現在、東京都青梅市、愛知県犬山市、大阪府富田林市および兵庫県伊丹市等 4 都府県 14 市町で緊急防除を実施している。

5 新規発生病害虫

平成 24 年度に制定した重要病害虫発生時対応基本指針に基づき、平成 26 年度は 10 月までに約 20 件の新規発生病害虫の発生に関する報告があった。都道府県と協

力して調査を行ったところ、これら病害虫は、農業被害が確認されないか、既存の防除体系の中では被害が軽微となるものであった。また、近年、学会などの報告で初めて新規発生病害虫の発生が確認される事例が散見されている。新規発生病害虫への対応は、早期発見・早期防除が重要であることから、関係者に対して、発生が疑われる場合は最寄りの植物防疫所へ情報提供するよう促しているところである。

IV 農林水産航空事業

有人ヘリコプターによる本年度の農林水産航空事業の農業関係の延べ面積は 48 千 ha となる見込みである（計画値）。作物別では、水稻では 38.3 千 ha、水稻以外（果樹、畑作物等）防除で 8.3 千 ha、その他（播種・施肥等）1.3 千 ha となっている。また、ミバエ類の再侵入防止対策の延べ面積は 2,432.6 千 ha となる見込みである。

無人ヘリコプターについては、平成 26 年 4 月の航空機製造事業法の改正により、総重量の規制が 100 kg から 150 kg に緩和されたことから、より低コストな空中散布などの実施が期待されている。また、平成 25 年度には無人ヘリコプターによる死亡事故が発生したことから、安全対策のより一層の強化を図るため、昨年 6 月に「無人ヘリコプター利用技術指導指針」を改正し、事故防止のための具体的な対策を追加した。

また、昨年は西日本の天候不順によるイネいもち病の発生が懸念されたことから、8 月に、いもち病の防除の徹底が図られるよう、「無人ヘリコプターによるイネいもち病の防除について（平成 26 年 8 月 21 日付け 26 消安第 2743 号 消費・安全局植物防疫課長通知）」を関係

団体へ通知し、円滑な無人ヘリコプターによる追加防除のため機体の機動的な運用の推進などを依頼した。

V 農薬の出荷状況

平成 26 農薬年度（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）における農薬の出荷は、前年度に比べ数量では 0.5% 減の 196 千 t または kL、金額では 2.6% 増の 3,460 億円である（表-3）。

表-3 平成 26 農薬年度農薬出荷状況（暫定）

（単位：t, kL, 百万円, %）

用途		平成 25 農薬年度	平成 26 農薬年度	
		出荷	出荷	対前年比
殺虫剤	数量	70,957	68,779	96.9
	金額	100,725	102,673	101.9
殺菌剤	数量	38,490	39,221	101.9
	金額	74,189	75,973	102.4
殺虫殺菌剤	数量	21,284	20,911	98.2
	金額	38,211	38,176	99.9
除草剤	数量	60,659	61,523	101.4
	金額	114,121	119,318	104.6
その他	数量	5,299	5,224	98.6
	金額	9,965	9,921	99.6
合計	数量	196,688	195,656	99.5
	金額	337,209	346,060	102.6

農産安全管理課農薬対策室調査（農薬工業会加盟会社対象）。

（注）端数処理（四捨五入）の関係で、合計欄の数字と足し上げた数字とは必ずしも一致しない。

登録が失効した農薬（26.11.1～11.30）

掲載は、**種類名**、登録番号：**商品名**（製造者又は輸入者）登録失効年月日。

「殺虫剤」

● MEP 乳剤

5054：三共スミチオン乳剤（ホクサン）14/11/27

● ダイアジノン乳剤

8358：三共ダイアジノン乳剤 40（ホクサン）14/11/27

● ププロフェジン水和剤

15680：アブロードゾル（日本農薬）14/11/4

● エチルチオメトン・ベンフラカルブ粒剤

18945：大塚ステッド粒剤（OAT アグリオ）14/11/11

● フルバリネート・NAC 水和剤

19533：ヤシマブリックナック水和剤（協友アグリ）14/11/13

「殺虫殺菌剤」

● シフルトリン・ビテルタノールエアゾル

22297：アースガーデン WQ（アース製薬）14/11/19

「殺菌剤」

● チウラム水和剤

6536：三共チウラム 80（ホクサン）14/11/27

● トリシクラゾール水和剤

14800：武田ビーム水和剤 75（住友化学）14/11/5

● イミノクタジン酢酸塩液剤

15648：三共ベフラン液剤 25（ホクサン）14/11/27

● ジェトフェンカルブ・プロシミドン水和剤

17694：日農スミブレンド水和剤（日本農薬）14/11/7

● イプロジオン水和剤

22288：ロブラールフロアブル（バイエルクロップサイエン

ス）14/11/19

22289：日産ロブラールフロアブル（日産化学工業）14/11/19

「除草剤」

● IPC 乳剤

4870：三共クロロ IPC 乳剤（ホクサン）14/11/27

● テブチウロン・DCMU・DPA 水和剤

17753：ハービアウト水和剤（住友化学）14/11/30

17754：JC ハービアウト水和剤（日本カーリット）14/11/30

● イソウロン・MCPP 粒剤

20951：グラスジャック粒剤（保土谷アグロテック）14/11/12

● イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾビシクロン水和剤

21582：協友イッテツフロアブル（協友アグリ）14/11/2

● イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾビシクロン粒剤

21583：協友イッテツ 1 キロ粒剤（協友アグリ）14/11/2

● グリホサートイソプロピルアミン塩・MCPA イソプロピルアミン塩液剤

22292：草退治ワイド液剤（住友化学園芸）14/11/19

「殺そ剤」

● タリウム液剤

5886：液剤タリウム「大塚」2%（大塚薬品工業）14/11/1

● タリウム粒剤

5887：固形タリウム「大塚」（大塚薬品工業）14/11/1